

1学期の「学校評価 保護者アンケート」の結果と改善策について

1学期の「学校評価 保護者アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。アンケート結果ならびに今後の改善策等をお知らせいたします。

1 アンケート結果

A:よく当てはまる B:やや当てはまる C:やや当てはまらない D:当てはまらない

項目	評価内容	A	B	C	D	A+B
1	学校便りや学年・学級便り、ホームページなどから学校の様子や子どもの様子がよく分かる。	50%	46%	4%	0%	96%
2	授業参観や懇談会に参加しやすい。	54%	42%	4%	0%	96%
3	学校に連絡や相談がしやすい。	46%	50%	4%	0%	96%
4	授業参観等で見た授業はお子さんに分かりやすい。	52%	43%	4%	0%	96%
5	お子さんは「家庭学習集中期間」に、自分で学習計画を立てて取り組んでいる。	25%	50%	21%	4%	75%
6	九小の子は進んであいさつをしている。	25%	67%	8%	0%	92%
7	九小の子は、大人や先生に丁寧な言葉づかいをすることができている。	25%	71%	4%	0%	96%
8	九小の子は人に優しく接している	29%	71%	0%	0%	100%
9	お子さんは楽しく学校に通っている。	42%	50%	8%	0%	92%
10	家庭では、毎日十分な睡眠時間を取り、朝食をとって登校させている。	42%	50%	8%	0%	92%
11	児童の安全を守るために、学校・地域・保護者が協力して安全パトロールを行い、通学路の安全を確保している。	67%	33%	0%	0%	100%
12	「夢通信」をもとに、お子さんと将来のことについて話し合っている。	29%	58%	13%	0%	88%

2 考察

(1) 評価が高かった項目

以下の3つの項目は、多くの保護者の方が高い評価(AとBの合計が95%以上)をしているものです。

項目 2	授業参観や懇談会に参加しやすい。
項目 8	九小の子は人に優しく接している。
項目 11	児童の安全を守るために、学校・地域・保護者が協力して安全パトロールを行い、通学路の安全を確保している。

項目 11 については、低学年の児童が一斉下校をする際に保護者の方々がボランティアで引率して下さっていたり、毎日の登下校時に見守り隊の皆さんが子どもたちと会話しながら歩いて下さったりしていることに感謝申し上げます。また、今年は4年生が保護者や地域の方々の協力をいただきながら、総合的な学習の時間に通学路の危険箇所調べを行い、その結果をもとに、地域の方々に対して報告することができました。

項目 2 については、今後も新型コロナ感染防止策を十分に取りつつも、皆さんが快く参加できるような職員一同努力してまいりたいと思います。

項目 8 については、学活や道徳の時間をはじめとして、すべての教育活動の中で、児童が互いのよさを認め合えるよう、これからも指導していきます。

(2) 今後、改善したいこと ※ A と B の合計が低かった 3 つの項目

項目 5 家庭での宿題や読書の習慣

設問「お子さんは家庭学習集中期間に、自分で学習計画を立てて取り組んでいる。」に対し、A または B と答えた割合は 77% で、全設問の中で最も低い結果でした。

学校では、家庭学習集中期間だけでなく、日常的に、家庭学習の内容や仕方を具体的に支援してきましたが、子どもたちにはよく伝わっていなかったようです(児童の回答は A.B 合わせて 64%)。そこで、これまでも増して、特に家庭学習集中期間は事前、事後も含めて、より良い取り組みを紹介し、そのよさを共有したり、取り組む内容に悩んでいる児童のお手本となるようにします。また、日常的に家庭学習や読書の大切さを伝えつつ、児童 1 人 1 人に合った課題を個別に教師が紹介したり、がんばっている児童を紹介したりします。

ご家庭でも、例えば、お子さんと一緒に読書をして感想を話し合ったり、漢字練習が正しい文字でできているかをチェックしたりしていただくと、意欲の向上につながりますので、よろしくお願ひします。

項目 6 あいさつ

設問「九小の子は進んであいさつをしている。」に対し、A または B と答えた割合は 84% で、昨年度とほぼ同じ結果でした。

学校では、あいさつの大切さや金・銀・銅のあいさつについてクラスで再確認しつつ、毎朝、職員が児童玄関であいさつをしています。しかし、相手の目を見て笑顔であいさつできる子は多くありません。登下校に同行してくださる見守り隊の人たちからは、「よくあいさつできる」と褒めていただいているので、今後も向かい合った場面でのあいさつが気持ちよくできるよう指導を続けていきます。

ご家庭でも、朝一番のあいさつを、大人が率先して「目と目を合わせて笑顔で」行うよう、心がけていただければと思います。

項目 12 将来への夢や希望

設問「夢カードや『夢通信』をもとに、お子さんと将来のことについて話し合っている。」に対し、A または B と答えた割合は 79% で、昨年度よりも向上が見られましたが、未だ不十分な結果でした。

学校では、児童が夢や希望をもち将来のことを考える授業を道徳科をはじめとして様々な教科で行っています。また、委員会活動や学級の係活動等を通して、仕事をすることの大切さや楽しさ、自分にもできることがあるという自己有用感を感じ取れるよう指導を続けています。今後も、夢や希望に関して道徳や学活で学習した様子や児童の考えなどを学級便りや夢通信等にのせ、家庭でも話題にさせていただけるようにしていきます。また、折に触れて、その学習が将来どう役立つかなど児童が未来に目を向けられるような声かけをしていきます。

ご家庭でも、自分が子どもに考えていた将来の夢や、その実現に向けてどんな努力をしたのかなどについて、お子さんに話していただければと思います。

子ども達のために、教師、保護者、地域で協力し、それぞれの立場でできることを積極的に行っていきましょう。第 2 回学校評価は、12 月に予定しております。